

第4学年「てつがく」学習指導案

授業者 草野 健

2月20日（金） 1階多目的室 9：00～9：40

1 単元名 これまでをふり返って話し合おう

2 単元について

4月からのてつがくでは、子どもたちが立てた問いをもとにして話し合ってきた。「あたりまえから問いを立てる」ことをこれまで行ってきた。1・2学期は、「生きる死ぬ」「行動習慣」「心」「やるやらない」「影響」「考える」というテーマを子どもたちが設定し、そこから問いを作ってきた。問いを作る際は、「なぜ」「どうして」は考えるのが難しい問いであることを子どもたちと確認してきた。また、抽象的な話し合いになりがちな時には具体例を出すよう促した。話し合う際の形式は、サークルとコミュニティボールを使ったり、机をコの字型に並べたりするなど様々な形式で話し合いを行った。2学期の途中から司会を子どもたちに委ね、教師は進行についてアドバイスを送ったり、話し合いの参加者として考えを発表したりする立場となった。

3学期の後半は、これまでをふり返って話し合うテーマと問いを立てる。ふり返ることが漠然としているとそれらは多岐にわたると思われる。そこで、5年生につながると思われる学校での出来事を取り上げながらこれまでをふり返り、テーマと問いを立てるようにしたい。出来事の例としては、運動会、委員会見学、縦割り班活動などが考えられる。

引き続き、話し合う形式については子どもたちに委ねたい。ここ最近は、話し合いながらノートに記録をしたい子どもが多く、机がある方が良いという意見を尊重してきた。また、発言する機会が平等である方が良く、発言したい人がランダムに発言するのではなく、ファミリーの順で発言をするようにしてきた。

4年生のまとめの時期であり、抽象的な発言が多く出る中で、抽象と具体を往還しながら子どもたちに委ねた話し合いができることを期待したい。

3 学習指導計画（4時間目／全5時間）

第1次 これまでをふり返って話し合うテーマと問いを考えよう…1時間

第2次 問いについて話し合おう…3時間（本時）

第3次 話し合いをふり返ろう…1時間

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

これまでをふり返って立てた問いについて、互いに話し合い、また聞き合い、考えたことをふり返って学習感想を書ける。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 問いについて確認する。	・前時に話し合ったことから今日の問いについて全員で共有できるようにしたい。
2 問いについての考えを持ち、話し合う。聞き合う。	・司会進行は子どもたちに委ねる。 ・話し合いが深まるようにアドバイスを送る。 ・参加者として考えを発表する。
3 本時をふり返り、学習感想をノートに書く。	・これまでのてつがくと同様に、終了5分前を目安に個人でふり返る時間にしたい。